

国語科 学習指導案

藤井寺市立 道明寺東小学校

指導者 富岡 彩子

1. 日 時 令和7年9月26日(金)第5時限(13:45~14:30)

2. 場 所 第5学年2組教室

3. 学年・組 第5学年2組(27名)

4. 単元名 「物語のおもしろさを解説しよう」(『注文の多い料理店』東京書籍)

5. 単元の目標

【知識及び技能】

・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりできる。

・構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

・物語のおもしろさを見つけようとする。

・物語のおもしろさについて考えたことを伝え合おうとする。

6. 単元の評価規準

【知識・技能】

・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。[(1)ク]

【思考・判断・表現】

・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりしている。

・構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えている。

[C(1)エ]

【主体的に学習に取り組む態度】

・物語のおもしろさを見つけようとしている。

・物語のおもしろさについて考えたことを伝え合おうとしている。

7. 単元で取り上げる言語活動

・物語を読み、内容を説明したり、物語のおもしろさについて考えたことを伝え合ったりする。

・第2次では『注文の多い料理店』では、意見交流をしながら、さまざまなしきけが複雑に関係し合って物語が構成されていることに気付く。

・第3次では『セロ弾きのゴーシュ』を中心とした複数の作品に触れ、宮沢賢治が名作家と言われるこだわりのしきけについて考えたことを伝え合う。

・単元を通して、さまざまな宮沢賢治作品を読み、作者と対等の立場で物語のおもしろさを伝えるレビューを書く。

8. 教材観

本教材は、不思議な出来事が多く起こり、どの登場人物や出来事に着目するかによって、「現実の世界」と「不思議な世界」の変わり目の捉え方が読み手によって異なる物語である。また、題名や山猫軒の戸に書かれた言葉が二通りに解釈できるところが、物語全体の大きなしきけとなっている。色彩を使った表現や擬声語・擬態語なども多用され、物語世界に引き込む工夫をさまざまな観点から見つけることができる。表現の工夫について考えを深めるのに適した教材である。また、それらの工夫は、作者が意図的に取り入れたしきけであることに気付き、「〇〇だからおもしろい」「もしも、〇〇なら?」と作者と対等に考えることができる教材である。

本教材を通して、他のファンタジーの作品へと読書の世界を広げることができる。また、宮沢賢治の他の作品を読み、

作家宮沢賢治の考え方について深めていくこともできる。さまざまな視点から読書への意欲を高めていける教材である。宮沢賢治作品を読み進める中で名作家と言われる所以を探ることができる。

9. 児童観

本学級の児童はこれまでの国語科の学習において、『おにぎり石の伝説』では、朗読での表現のために中心人物の人物像を捉え心情の変化に着目しながら学習を行った。おにぎり石への思いの強さを時系列にそってグラフで表し、どの段階で中心人物に大きな変化が生まれたのか、友だちのグラフと比べながら話し合った。

『世界で一番やかましい音』では、物語の山場に着目し、物語全体の構成を捉え、山場で起こる変化について考えた。また、本文への色分けも行い、時、場所、人物像、表現の工夫について、色のバランスを視覚的に確認しながら学習を進めた。物語の始めと終わりの変化がオノマトペで表現されていることに気付き、朗読することを楽しんでいた。「もしも、おくさんがこんな思いつきをしなかったら?」「世界中の人がその思いつきに賛同しなかったら?」等、物語の設定に言及する児童もいた。

これまでの学習を通して、心情の変化に着目したり、物語の構成を意識して考えたりする経験を積んできている。しかし、人物像、物語の構成、表現の工夫等、さまざまなしきけを関係づけて考えるところまでは至っていない。

本学級の児童の読書の様子を見ていると、絵の多い低学年向きの読み物を読んでいる児童が多く、複雑な文章を読むことに抵抗を持っている児童が多いように感じる。

10. 指導観

本单元の重点指導事項は【思考力、判断力、表現力等】の「読むこと C(1)工人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりしている。」である。第2次では、『注文の多い料理店』の物語のおもしろさのしきけを考える。初発の感想から児童が気付いている物語のおもしろさを把握し、個別学習とグループ学習につなげる。意欲的に取り組めるように、同じ観点に着目している児童同士でグループを構成したり、違う観点で意見交流させたりする。全体では、児童が見つけた物語のおもしろさ(ファンタジーの構成やアイテム、表現の工夫、人物像など)のつながりを考える学習を行う。作者の巧みなしきけに気付き、作者と対等に意見を持てるように指導する。教科書では宮沢賢治への意見文を書く活動が設定されているが、児童に馴染みのあるレビューを書く活動に変更する。

言語活動として C(2)イ物語を読み、内容を説明したり、物語のおもしろさについて考えたりする活動を行う。宮沢賢治が名作家と言われる所以、やっぱり名作家だ!とわかる物語のしきけを見つけていく。第3次では、『セロ弾きのゴーシュ』を中心に宮沢賢治の他の作品へと読書の幅を広げていく。物語を読んだときの気持ちや感覚、思いに見られる違いやその違いにつながる一人ひとりの着眼点の良さを生かした学習を進められるようにしたい。意見交流をすることで、さまざまなしきけが複雑に関係し合って物語が構成されていることに気付かせたい。複数の作品に触ることで、宮沢賢治が名作家と言われる、こだわりのしきけについて考えさせる。

また、本单元の学習に先行し、ファンタジーの本の紹介や不思議な世界にいざなうしきけやアイテムを集めしていく。教師からの紹介だけでなく、児童からも募集して教室掲示をしていく。学校図書館を活用して、本单元の学習の興味付けや手助けにしたい。また、宮沢賢治の代表的な作品やその一部にも触れておき、宮沢賢治の世界に浸れるような環境作りも行う。本单元の学びが、児童一人ひとりが自由に読書するときに生かせる学びになってほしい。

11. 単元の指導と評価の計画(全9時間)

次	時間	学習活動	評価規準と評価方法		
			知識及び技能	思考力、表現力、判断力等	学びに向かう力、人間性等
第一次	2	<p>① 物語のしきけを見つける。</p> <p>① 物語のおもしろさのしきけを見つける。</p> <p>② 初発の感想を書く。</p>			①②物語のおもしろさを見つけようとしている。 (行動観察)

第2次	4	<p>② 「注文の多い料理店」のおもしろさのしきけを見つける。【言語活動】</p> <p>③ 物語のおもしろさのしきけを見つける。(人物相関図)</p> <p>④ 物語のおもしろさのしきけを見つける。</p> <p>⑤ しきけのつながりを考える。</p> <p>⑥ 「注文の多い料理店」のレビューを書く。</p>	<p>④比喩や反復など表現の工夫に気付いている。</p> <p>(ワークシート)</p>	<p>③～⑥人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりしている。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>・物語のおもしろさについて考えたことを伝え合っている。</p> <p>(行動観察)</p>
		<p>③宮沢賢治の工夫を探る。【言語活動】</p> <p>⑦ 物語のおもしろさのしきけを見つける。「セロ弾きのゴーシュ」</p> <p>⑧ 宮沢賢治のこだわりのしきけを見つける。「セロ弾きのゴーシュ」(本時)</p> <p>⑨ 宮沢賢治の工夫について考える。</p> <p>【図書館活用】 宮沢賢治の他の作品を読み、レビューを書きためる。</p>	<p>⑦～⑨比喩や反復など表現の工夫に気付いている。</p> <p>(ワークシート)</p>	<p>⑦～⑨人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりしている。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>・物語のしきけについて考えたことを伝え合っている。</p> <p>(行動観察)</p> <p>・名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えている。(ワークシート)</p>

【図書館活用】図書の時間や朝読書の時間を活用し、宮沢賢治作品の読み聞かせを行う。廊下に宮沢賢治コーナーを設置し、レビューを掲示していく。本単元で作品を読み進める中で、宮沢賢治自身に興味を持った児童には、伝記を読むことでさらに考えを深めていくようにする。また、名作家シリーズとして、引き続き3学期教材「大造じいさんとがん」では椋鳩十の作品も学習し、名作家の工夫について学習していく。

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えることができる。【思・判・表】

(2) 本時の評価規準

構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えている。

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	支援を要する子どもへの手立て
ワークシートをもとに、 <u>友だちの意見を踏まえ</u> 、構成や表現の工夫を見つけたり、名作家の工夫と物語のおもしろさを考えたりできている。	ワークシートをもとに、構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を確認しながら物語のおもしろさのしきけを見つけるように声をかける。 ・友だちの意見を聞き、自分の考えを持てるようにする。

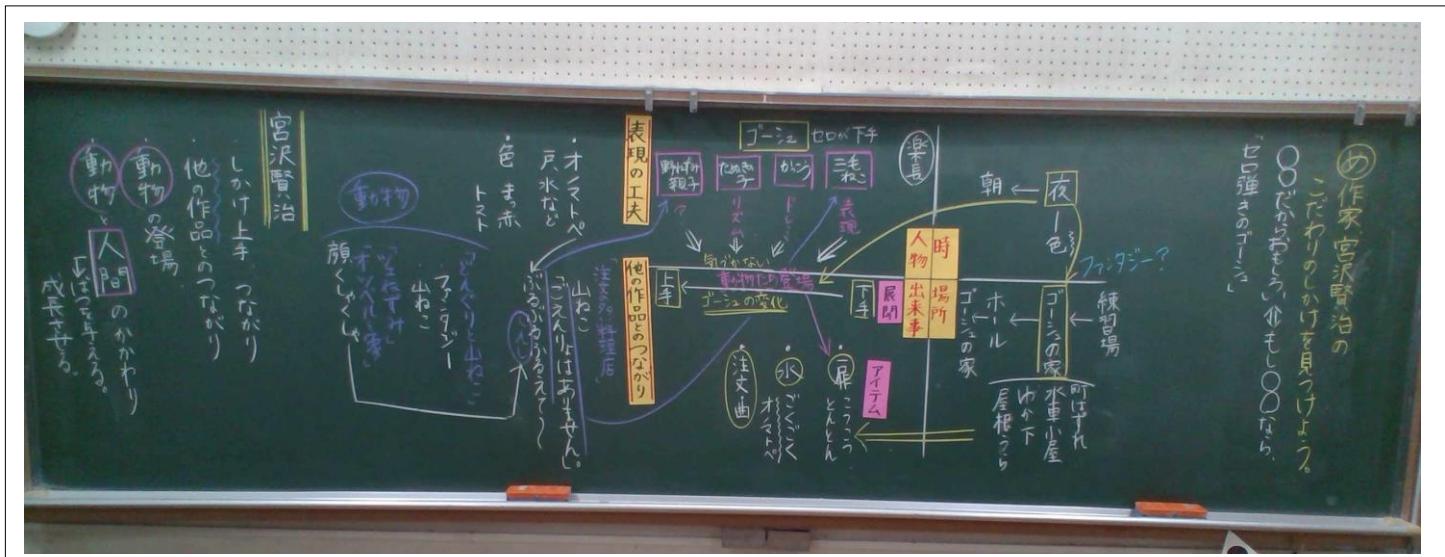
(4) 主体的に取り組む子どもの姿

観点	めざす子どもの姿	手立て
自己決定力	・自分の意見と友だちの意見を比較することができる。	・「時、場所、人物、出来事、表現の工夫」をわかりやすく板書することで自分の意見との共通点や相違点を考えやすくなる。 ・目的に応じてそのつどグループ編成し、交流することで自分の考えを深めさせる。
他者とつながる力	・物語のおもしろさを見つけ、共通点や相違点を伝え合い、自分の考えを深めようとしている。	・ワークシートを活用し、おもしろさのしきを整理しやすくする。

(5) 本時の学習過程

時	学習活動(○)と 予想される子どもの意見(・)	指導上の留意点(○)と 教師の主な発問(「 」)	評価規準(評価方法)
5	○本時のめあてを確認する。	○「時、場所、人物、出来事」を中心あらすじを確認する。	
作家、宮沢賢治のこだわりのしきをしきを見つけよう。			
5	○物語のおもしろさのしきを見つけける。 (個人)	「宮沢賢治のこだわりのしきは何だろう。」	・【思・判・表】構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えている。
10	○物語のおもしろさのしきについて交流する。 (グループ)	○「時、場所、人物、出来事、表現の工夫」がつながりあって構成されていることに気付かせる。	・【思・判・表】構成や表現の工夫を見つけ、名作家の工夫とその効果や物語のおもしろさを捉えている。 (ワークシート・行動観察)
20	○宮沢賢治のこだわりのしきをしきを考える。 (全体) ・ゴーシュの人物像 (動物たちの登場による変化) ・物語の展開 (ファンタジーの構成、曲目との関連性) ・『注文の多い料理店』との共通点 (猫、戸、オノマトペ、色、言葉) ・『どんぐりと山猫』など他の作品との共通点 (ファンタジー、動物と人間)	○他の作品と比べて共通点を考えさせる。 「ここがやっぱり名作家!宮沢賢治のこだわりのしきは?」	・【主】物語のおもしろさについて考えたことを伝え合うとする。(行動観察)
5	○本時の学習をふりかえる。	○共通点を見つけにくい児童には、『注文の多い料理店』のワークシートと比べさせる。(オノマトペ、色の表現など)	

13. 板書計画



14. ご高評欄